

地震・防災マニュアル(緊急地震速報対応)

大切な自分の命は  
自分で守ろう！！

学校法人 高田学苑  
高 田 中 学 校  
高 田 高 等 学 校

〒514-0114  
三重県津市一身田町2843  
TEL 059-232-2004  
FAX 059-231-3832

# 東日本大震災の様子

平成23年(2011年)3月11日午後2時46分東北地方太平洋沖地震が発生し、それに伴って発生した津波、及びその後の余震により大規模地震災害となった。

マグニチュード 9.0

震 度 7

震源地 太平洋三陸沖



●地震で亡くなった人	●地震で行方不明者になった人
15,863人	2,949人

●怪我をした人



約6,000人

●壊れた家



約270,000戸

●避難生活をした人



約400,000人

# 震度と揺れ等の状況(概要)

<p><b>0</b></p>  <p><b>[震度0]</b> 人は揺れを感じない。</p>	<p><b>1</b></p>  <p><b>[震度1]</b> 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p><b>2</b></p>  <p><b>[震度2]</b> 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p><b>3</b></p>  <p><b>[震度3]</b> 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p><b>4</b></p>  <p><b>[震度4]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ほとんどの人が驚く。</li> <li>● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</li> <li>● 座りの悪い置物が、倒れることがある。</li> </ul>	<p><b>6弱</b></p>  <p><b>[震度6弱]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 立っていることが困難になる。</li> <li>● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</li> <li>● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</li> </ul> <p>耐震性が高い      耐震性が低い</p>		
<p><b>5弱</b></p>  <p><b>[震度5弱]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</li> <li>● 棚にある食器類や本が落ちることがある。</li> <li>● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li> </ul>	<p><b>6強</b></p>  <p><b>[震度6強]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はわないと動くことができない。飛ばされることもある。</li> <li>● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。</li> <li>● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。</li> <li>● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</li> </ul> <p>耐震性が高い      耐震性が低い</p>		
<p><b>5強</b></p>  <p><b>[震度5強]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 物につかまらなさと歩くことが難しい。</li> <li>● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。</li> <li>● 固定していない家具が倒れることがある。</li> <li>● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul>	<p><b>7</b></p>  <p><b>[震度7]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。</li> <li>● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。</li> </ul> <p>耐震性が高い      耐震性が低い</p>		

**地震が起きたら**      **あわてず、まず身の安全を!!**      **緊急地震速報を見聞きしたら**

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- 運転中は、ハザードランプを点灯し、緩やかに減速
- あわてて外に飛び出さない(落下物や車が危険)
- 近づくな、門や塀、自動販売機やビルのそば
- 揺れがおさまってから、あわてず火の始末
- 海岸でぐらっときたら高台へ
- あわてた行動、けがのもと

家屋の耐震化や家具の固定など、日頃から地震に備えましょう!!

# 地震が発生した場合

## (1) 授業中 - 教室[普通教室・特別教室等]

緊急地震速報受信(震度5弱以上) 校内一斉放送(地震発生 カウントダウン開始)

第一次避難	教 職 員		生 徒	
	机の下にもぐれ！  出入り口を開け 出席簿を持つ 電源を切る ガスの元栓を止める  落ち着かす 怪我等の確認	毅然たる態度で生徒の気持ちを 落ち着かせる 落下物やガラス等の飛散物から 身を守らせる  避難経路の確認  生徒の把握 怪我の有無確認	すばやく机の下にも ぐる 窓や壁と反対側に身を 向け、落下物から身を 守る 静かに指示を待つ  近くの人を調べる	口を閉じ、すばやく行動 勝手な行動はしない  口を閉じ、次の指示を静 かに待つ  近くの人を調べる 異常があれば知らせる

揺れがおさまったら本学防災本部より非常用放送で全員に避難を指示 避難開始  
 「押さない！ 走らない！ しゃべらない！ 戻らない！」

### 避難場所

	判断材料	避難場所
津波発生時	1分以上続く揺れ 気象庁の津波警報 学校周辺の状況 (海の潮位や河川の状況等)	高 : 4号館及び本館3階 高 : 2号館及び3号館3階 高 : 1号館3階 中1 : 4号館4階 中2 : 3号館4階 中3 ~ 6年移動無し(そのまま教室で待機)
火 災	校舎・校地の巡回 学校周辺の状況 (出火と延焼の有無、避難経路の 状況) 市町町の災害対策本部からの避難 勧告・避難指示 消防署への通報と情報収集 発災時の気象条件(風向、風速、 湿度等)	東グラウンド

第二次避難	教 職 員		生 徒	
	頭に気をつけさせる  その場に座る指示	口を閉じ、出口に近い人から誘 導 出席簿を持つ 落下物に注意させる  集合場所に座り、危険を避けさ せる	落下物に注意して、す ばやく行動をする すばやく座る	押さない！ 走らない！ しゃべらない！ 戻らない！ すばやく指示どおりに行 動する 頭を覆ったまま座る

## (2) 授業中 - グラウンド

緊急地震速報受信(震度5弱以上) 校内一斉放送(地震発生 カウントダウン開始)

第一次避難	教 職 員		生 徒	
	校舎から離れる指示!	大声で	校舎から離れる	ホームページの緊急連絡(災害時休校など)確認
	グラウンド中央に集合させる	安全な場所に集める	すばやく集まる	勝手な行動はとらない 口は閉じる
	その場に座らせる	地割れに注意をする	すばやく座る	教職員の指示に従う

揺れがおさまったら本学防災本部より非常用放送で全員に避難を指示 避難開始  
「押さない! 走らない! しゃべらない! 戻らない!」

### 避難場所

	判断材料	避難場所
生徒のとるべき行動	1分以上続く揺れ 気象庁の津波警報 学校周辺の状況 (海の潮位や河川の状況等)	高 : 4号館及び本館3階 高 : 2号館及び3号館3階 高 : 1号館3階 中1 : 4号館4階 中2 : 3号館4階 中3 ~ 6年各自の教室へ戻る
火 災	校舎・校地の巡回 学校周辺の状況 (出火と延焼の有無、避難経路の状況) 市町町の災害対策本部からの避難 勧告・避難指示 消防署への通報と情報収集 発災時の気象条件(風向、風速、 湿度等)	グラウンドで待機

第二次避難	教 職 員		生 徒	
	頭に気をつけさせる	出席簿を持つ 落下物に注意させる	落下物に注意して、す ばやく行動をする すばやく座る	すばやく指示どおりに行 動する 頭を覆ったまま座る
その場に座る指示	集合場所に座り、危険を避けさ せる			

## (3) 授業中 - 体育館・柔剣道場

教職員の適切な指示(窓や壁際からすみやかに離れさせ、中央部に集合させる)のもとに、発生後はすばやく行動する。すべての行動は(1)に準ずる

## 特別教室において予想される危険

理科室・保健室では

予想される危険

- ・戸棚の転倒など
- ・薬品棚の転倒や薬品の流出
- ・実験中の薬品、ガス器具、アルコール<sup>°</sup>などの転倒による発火ややけど

安全確保の指示

- ・使用中の火気は消火し、遠ざける
- ・ガスの元栓は閉めさせる

家庭科調理室では

予想される危険

- ・戸棚の転倒など
- ・実習中の沸騰した湯や火でのやけど
- ・ガスコンロからの引火、ガス漏れやガス爆発

生徒のとるべき行動

- ・熱湯に注意させる
- ・ガスコンロを消火し、ガスの元栓を閉めさせる
- ・食器棚近くから離れさせる

その他の特別教室では

予想される危険

- ・彫刻物、立て掛け物の転倒、壁面の絵画の落下（美術室）
- ・グランドピアノの急激な移動（音楽室）
- ・工作機械の急激な移動、机、イスの急激な移動（技術室）
- ・書架の倒壊、本の落下、机、イスの急激な移動（図書館）
- ・コンピュータ、ディスプレイなどの落下や急激な移動（コンピュータ教室）
- ・テレビなどの転倒、スクリーンなどの落下（視聴覚室）

津波発生時

- ・転倒、落下の恐れのある物から離れさせる
- ・机などの下に身を隠させる
- ・手、本、カバン、衣服などで頭部を覆い、姿勢を低くさせる

グラウンドでは

予想される危険

- ・校舎の窓ガラスの飛散、外壁などの倒壊
- ・バックネット・体育器具等の移動など、ブロック塀の倒壊

安全確保の指示

- ・校舎、体育器具から離れさせる
- ・グラウンドの中央部に集まり、姿勢を低くさせる
- ・自分勝手に学校から離れさせない

#### (4) 休憩時間中・掃除中

##### 緊急地震速報受信(震度5弱以上) 校内一斉放送(地震発生 カウントダウン開始)

クラス担任は、生徒に、地震を感じたら第一次避難をするように常時指導しておく  
生徒は、第一次避難をしたら、次の指示まで静かに待機、勝手な行動を取らない

	教 職 員	生 徒
第 一 次 避 難	クラス担任はクラス教室へ至急戻る 担任外はあらかじめ定められた役割分担の箇所へかけつける 保健室・事務室は授業中に準ずる  指令により、避難開始	教室・校庭・体育館・柔剣道場は授業中と同じ 廊下・階段・昇降口に居る者は近くの教室へ避難 トイレに居る者は戸を開けて、避難路を確認

揺れがおさまったら本学防災本部より非常用放送で全員に避難を指示 避難開始  
「押さない! 走らない! しゃべらない! 戻らない!」

#### 避難場所

	判断材料	避難場所
津波発生時	1分以上続く揺れ 気象庁の津波警報 学校周辺の状況 (海の潮位や河川の状況等)	高 : 4号館及び本館3階 高 : 2号館及び3号館3階 高 : 1号館3階 中1 : 4号館4階 中2 : 3号館4階 中3 ~ 6年移動無し(そのまま教室で待機)
火 災	校舎・校地の巡回 学校周辺の状況 (出火と延焼の有無、避難経路の状況) 市町町の災害対策本部からの避難 勧告・避難指示 消防署への通報と情報収集 発災時の気象条件(風向、風速、 湿度等)	東グラウンド

	教 職 員	生 徒
第 二 次 避 難	出席簿を持ち、他の教室やトイレを確認しながら、避難誘導する	近くの教職員の指示に従い、避難する

#### (5) 部活動中・生徒会活動中

教科等の学習中の場合に比べて指示や人員の把握がしにくい時間帯であることを踏まえて、休憩時間中の場所に準じた対応を行う

	教 職 員	生 徒
	生徒の所在をすみやかに把握する 下校した生徒とまだ学校内にいる生徒の確認を至急行う 生徒の動揺を鎮め、非常時の行動を確認する 休憩時間中の対応に準ずる	所属部活動、委員会別に集合する 顧問の指示に従って、下校の支度をしてグラウンドへ避難する

## (6) 登下校中

教職員が避難誘導出来ないので、生徒がどうしてよいか迷ったり、危険な行動に走る恐れが多分に予想される。日頃から、一人で落ち着いて行動できるように指導しておく  
(近くに大人がいて指示された場合は、その指示に従う)

- ・石べい、ブロックべい、建物から離れる
- ・通学途上にある広場、空き地の場所をあらかじめ調べておき、そこへ避難する
- ・交通事故に合う危険があるので、道路への避難はしない
- ・電車・バス等の公共交通機関により移動中の場合は、関係者の指示に従う

本校の近くにいる場合は、すみやかに本校へ避難する  
生徒一人一人の通学途上における避難場所を確認させておく

### 生徒のとりべき行動

#### 第一次避難

建物、へい、電柱等の倒壊の恐れのある場所から離れる  
橋や歩道橋にいる場合、近い方へ急いで渡る  
ガソリンスタンド、ガスボンベ等から離れた所へ避難する  
自動車に気を付ける  
かばん等で頭を守る  
広い場所、安全な所へ避難し、体を低くする  
安全と思う所へ避難する

#### 第二次避難

津波発生時  
自分で判断がつかない時は、近くの大人に聞いて行動する

緊急地震速報は現在技術的に必ず間に合うものではないため、緊急地震速報の一斉放送がないまま地震を感じた場合は第一次避難をするように常時認識しておくこと

# ふだんからの備え

## 1. 点検補強

- 物の落下防止

## 2. 家具の固定

- 家具等の転倒防止

## 3. 通路の確保

- 階段や廊下には物を置かない

## 4. 貯水の習慣

- 風呂等には水をはる

## 5. 消火の備え

- 消火器を備え、その使用方法の訓練及び点検

# 火災が発生したら



# 地震だ！そのとき 家にいたら

## まずわが身の安全を図る

机やテーブルなど、その場で一番丈夫な物の下に身をふせる。家具、本棚、食器棚などはあらかじめ固定しておく

## 火の始末を

## あわてて外に飛び出さな

急に戸外へ飛び出すと、屋根瓦やガラス、看板などが落ちてきて危険です。外へ出るときは長袖・長ズボンやヘルメットを着用するなど安全な服装で

## 戸を開けて、出口の確保

建物が傾くと、窓や戸が開かなくなることがあります。揺れが激しいときは、戸を開けて出口を確保しておく

## 室内のガラスの破片に気をつける

室内のガラスの破片で、手足にけがをしないように、スリッパなどを用意しておく。また、夜間の地震の場合に備えて、懐中電灯のある場所を前もって確かめておく

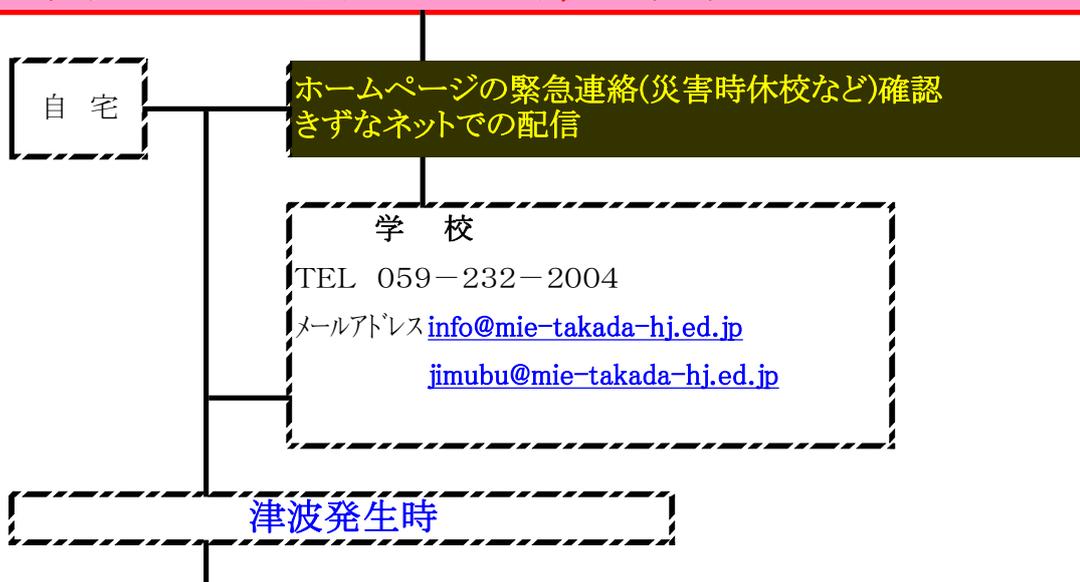
## 避難は歩いて

## 引き渡しと待機

### 引き渡しのルール

学校を含む地域の震度	震度 6 弱以上	原則として、保護者が引き取りに来るまで学校に待機させる。この場合、時間がかかっても保護者が引き取りに来るまでは、生徒を学校で保護しておく ただし、安全が確保され、公共交通機関が正常に運行されている場合はこの限りではない(学校ホームページ・きずなネット確認)
	震度 5 以下	原則として下校させる。交通機関に混乱が生じて帰宅困難な場合は、復旧するまで学校で待機させる

## 学校からの連絡・NTT緊急伝言ダイヤル



災害用伝言ダイヤルは、震度 6 弱以上の地震が発生した時に NTT が提供する安否情報等の確認システムです。これは、伝言ダイヤル「171」に伝言を録音すると、ほかの方がこの伝言を再生して聞くことができ、災害時に家族がお互いに安否の確認ができるというしくみです。大地震などの発生により、被災地の電話が込み合っかかりにくい場合に有効です

#### 【利用方法】

まず、「171」に電話をかけます。あとは受話器から流れる利用案内のメッセージに従いダイヤルし、伝言の録音（1 伝言30秒以内）や再生を行います